

---

## 「泌尿器癌の病理学的解析」に関するお知らせ

---

このたび、当センターで診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

1985年6月14日から2027年2月28日の間に、当センターで手術、生検、病理解剖を行った泌尿器がん（前立腺腫瘍、腎腫瘍、腎盂尿管腫瘍、膀胱腫瘍、精巣腫瘍、副腎腫瘍、陰茎腫瘍、後腹膜腫瘍）の患者さんと、良性疾患に対して泌尿器臓器（前立腺、腎、腎盂尿管、膀胱、精巣、副腎、後腹膜）の手術を行った患者さんを対象としております。

#### 2. 研究の目的

特定のタンパク質が腫瘍内に存在するかどうかを顕微鏡で確認します。その結果により、それらのタンパク質が泌尿器がんの発生、再発、進展、がん死、薬剤反応性に関わっているかどうかを検証することが可能となり、今後の診断や治療効果の予測、予後の予測に役立つ可能性があります。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2027年03月01日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

2020年4月2日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

##### 手術検体

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、個人情報管理者である北山沙知が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

#### 2. 試料・情報の取得方法

手術の際に生じた残余検体、検査データおよび診療記録等を用います。

### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 泌尿器科 教授 川上 理（研究代表者）

埼玉医科大学医学部ゲノム応用医学 教授 堀江 公仁子

東北大学大学院医学系研究科 病理検査学分野 教授 鈴木 貴

### 4. 試料・情報の管理責任者

<提供元機関> 埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮好文

<提供先機関> 埼玉医科大学医学部ゲノム応用医学 教授 堀江 公仁子

東北大学大学院医学系研究科 病理検査学分野 教授 鈴木 貴

### 5. 試料・情報の提供方法等について

<試料>

個人が特定できないよう加工した検体を専用容器に封入し、追跡可能な輸送方法により送付します。

<情報>

個人が特定できないよう加工した情報をパスワードをかけた電子ファイルに保存し、メールで送信します。

#### お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

埼玉医科大学総合医療センター

泌尿器科 教授 川上 理

TEL : 049-228-3673 (直通)

(平日 9時~17時)

○研究課題名：泌尿器癌の病理学的解析

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 泌尿器科 川上 理